

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

【ニコニコ箱】

誕生日御祝 / 西田さん、お元気で!! (清水則明)
 【結婚記念日御祝】 田畑賢一 (清水則明)
 結婚記念日御祝 (金婚式) / 早いものです。孫達に囲まれて楽しく内輪でやりました。(菅原将高)
 【配偶者誕生日御祝】 田畑賢一 (菅原将高)
 配偶者誕生日御祝 / 3月でまた同じ年になりましたね。これからもよろしくお祈りします。(山本道隆)
 山本道隆 (山本道隆)
 ありがとうございます。(西田彰一)
 西田さん、長年に渡りご尽力ありがとうございました。新天地での益々のご活躍をお祈り致します。(石丸敦士)
 西田さん、東京のお店を開拓しておいて下さい。(小林満只)
 佐々木会長、職場さんばご紹介して頂き感謝致します。西田さん、お疲れ様でした。(谷崎由美子)
 辻さん、卓話お疲れ様でした。(浅井正勝)
 辻さん、感動した。(江守康昌)
 辻さん、卓話とても良かったです。(片山加奈子)
 職業奉仕も社会奉仕もボランティアではなく、企業価値を高める経営戦略! 4月13日「先進のCSR」でロータリーの勉強もできます。辻さんの卓話、楽しませていただきました。(玉木 洋)
 本日はありがとうございました。(辻恵利子)
 辻さん、卓話ありがとうございました。(登谷大修)
 辻さん、卓話ありがとうございました。(英 貴子)
 辻さん、卓話ありがとうございました。(平野洋一)
 辻さんの卓話、とても素晴らしかったです。ありがとうございました。(吉岡正巳)
 春の高校野球、工大福井は残念でした。それにしても稀勢の里の優勝は感動的でした。(佐々木知也)
 英さん、お写真眼福でございました。(橋本一也)
 本日欠席で申し訳ありません。明日31日本店横に「パティスリーKANSENDO」をオープンします。(村中洋祐)
 フジフィルムのホームページに私の映像が流れている事を福井新聞で取り上げられました。世界で36人のうちの1人です。(渡辺和男)
 各 君

【米山奨学特別寄付金】

市橋信孝・細江 究・宮崎為夫 (朝倉真博)
 高山さん、北山さん、西田さん、お元気で。是非またお会いしましょう。(朝倉真博)
 早退させていただきます。(加藤幹夫)
 西田会員、北山会員、高山会員の新転地での活躍をお祈りしています。(佐々木知也)
 西田会員の東京ご栄転を祝して。お世話になりました。(竹内由男)
 各 君

【ロータリー財団増進特別寄付金】

竹内由男 (朝倉真博)
 すいません。本日早退します。(朝倉真博)
 仕事仲間夫婦連れで宝塚星組公演に行ってきました。3時間の公演で時々とうとうとしましたが、最後のラインダンスでは見とれてしまいました。(油谷啓司)

社員の卓話素晴らしかったです。まだ、聴いてませんがそのはずです!! (佐々木知也)
 福井医療大学の開校が新聞に出てしまいました。リハビリと看護師さんの学校です。(林 正岳)
 だいぶん暖かくなってきました。しかし、寒暖の差が厳しいのでご注意ください。(宮崎茂和)
 各 君

【寄付金の状況】

	3月30日分	累計	目標
ニコニコ箱	55,000円	2,151,000円	3,170,000円
米山奨学金	14,000円	2,146,000円	2,330,000円
ロータリー財団	12,000円	2,653,040円	2,791,000円

ありがとうございました。

ビジター受付

- 4月 6日(木) 福井水仙 福井パレスホテル 18:00-18:30
- 4月 7日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関口
- 4月 11日(火) 武生 武生商工会館1階
- 4月 12日(水) 大野 大野商工会議所内事務局
- 4月 14日(金) 福井あじさい ホテルリバージュアケボノ
- 4月 14日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関口
- 4月 21日(金) 三国 三国観光ホテルフロント
- 4月 25日(火) 武生 武生商工会館1階

幹事報告

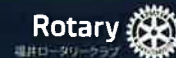


幹事 石丸 敦士

①次週 4/6(木)の例会はクラブフォーラムです。地区ご出向の会員増強・拡大委員会委員として地区ご出向の渡邊理事より、「会員増強報告」の話を頂きます。
 ②明日 31日(金)直近2年ご入会24名の新会員皆様を交えての「親睦会」を開催致します。対象者皆様はご案内の通り、18:30より開始しますので宜しくお願い致します。

報告

3月31日(金)昨年度・今年度に入会された方を対象に親睦会をバスコ・ダ・ガマにて開催しました。参加者総勢21名。みなさん、食べるのも忘れるくらい話が盛り上がりすっかり雰囲気は溶け込んでいました。



福井ロータリークラブ会報

2016-2017
 R.I. テーマ: 人類に奉仕するロータリー
 地区テーマ: 夢を語り、現在を刷新



R.I.会長 ジョン・ジャーム R.I.第2650地区ガバナー 刀根 莊兵衛

理事	監事	役員補佐
会長 佐々木知也	渡邊 義信	副幹事 村中 洋祐
副会長・会長エレクト 平野 洋一	片山加奈子	副会計 伊藤 彰
直前会長 清水 嗣能	油谷 啓司	副会場監督 山本 啓史
幹事 石丸 敦士	小森 富夫	副会場監督 片山 元
会計 朝倉 真博	青少年奉仕 渡辺 和男	
会場監督 岩崎 新	ロータリー財団 清水 正一	

本日の例会 2017年4月6日 第3275回

12時30分 閉会点鐘 会長挨拶
 栄行事 / 皆出席御祝 清水慶造(40年)、藤本潤一(7年)、渡邊義信(4年)、油谷啓司(3年) 上田祐広(3年)、土屋道照(2年)
 在籍御祝 / 佐々木知也(20年)
 誕生日御祝 / 武本一美、吉村千春、大門博也、大村宏司、山田和徳、野村直之、山井久也、村中洋祐、片山 元、浅井正勝、中島良成
 配偶者誕生日御祝 / 山岸靖夫、石丸敦士、山井久也、豊島雅之、森川圭造、横山強志、伊藤仁一郎、野村直之、村上憲司、渡辺和男、佐々木知也、浮田慎太郎、早川信之、藤本潤一
 結婚記念日御祝 / 宮崎為夫(金婚式)、英 貴子、角谷恒彦、浅井正勝、太田洋介、岩崎 新、山本 宝、酒井哲夫、山岸靖夫、増田喜一郎、佐々木輝明、宇野良二、玉木 洋、佐々木知也、初瀬川達郎
 委員会報告・幹事報告・その他
 クラブフォーラム(地区 会員増強・拡大委員会 渡邊 義信 委員)
 13時30分 閉会点鐘

今後の予定

- 4月8日(土)~9日(日) 地区大会
- 4月13日(木) 花見例会(場所: 開花亭)
- 4月20日(木) 会員卓話(英 貴子会員)
- 4月27日(木) ゲスト卓話 (びわこ学院大学教育福祉学部講師 社会福祉士会 会長 竹澤 賢樹様)

次回の例会 2017年4月13日(木)

- 会場: 開花亭
- 花見例会
- 開会点鐘: 18時00分
- 閉会点鐘: 20時30分

会長挨拶



会長 佐々木 知也

大相撲春場所の優勝決定戦での「稀勢の里の優勝」には涙が出ました。何事も最後まで決して諦めてはいけないことを伝えてくれました。老若男女多くの日本人が感動したのではないのでしょうか。これで大相撲人気復活することを願っています。
 今回は谷崎会員が経営する(株)ファミ・ベルシェをご紹介します。この会社は谷崎社長含め女性ばかり3名で切り盛りしており、働く女性を話題の対象にした「ファミ」というフリーペーパー月刊誌を嶺北地方中心に5万部発行しているそうです。月刊5万部も発行しているのは驚きです。簡単に比較はできませんが、福井新聞さんが嶺北・嶺南の全県で20万部といいますがさすがに数字です。ショッピングセンターやドラッグストアなど人が多く集まる所には必ずといっていいほど「ファミ」が置いてあります。また県内2000社以上の企業にも配布されています。月刊誌の発行以外にも企業カタログやパンフ、定期刊行誌などを手掛けています。JAさんの季刊誌なども企画から発行まで全て請け負っています。13年前の当時は、まだ福井で女性をターゲットにしたフリーペーパーは無かったそうで、そこを彼女は見逃しませんでした。情報誌を通して福井の女性が明るくイキイキと前向きに暮らしてもらいたい。そして女性の精神面を支え自立を促していきたいという強い思いからこの事業をスタートさせたといっています。
 29歳のときに創業して今年で13年が経ちました。鯖江市生まれの彼女は小さい頃から看護師になりたくて高校卒業後は看護学校で勉強し、丹南地区の民間病院で5年間看護師として頑

張ってきました。そして26歳の頃、雑誌社を経営する男性と知り合い結婚しました。それで看護師を辞め旦那さんの仕事を手伝うようになりました。しかしその結婚は長くは続かず3年で破局をむかえたといっています。家庭も仕事も無くした彼女は路頭に迷いました。全てを失い唯一残ったのが先の会社で経験した雑誌づくりのノウハウでした。そこで悩んだ揚句、会社創業を決断したのです。たった一人の独立でした。これまでの経験があるとはいえ全くゼロからのスタートです。再度看護師に戻る選択もあったのですが会社を創る決断を実家の父親に話したところ、彼女の勝手な行動に激怒しグーで殴られたといっています。親からも見放された彼女は誰の支援も受けず新会社をスタートさせました。会報の写真にある経営理念は、創業時に彼女自身が筆で書いたものです。もともと彼女の根底にある「幸せの循環」という考え方を表したものです。経営理念の内容をご紹介しますと「自ら豊かさや幸せを生み出し、上質なモノを社会に発信し続けることで、人々の心を豊かにし、社会に「しあわせの輪」を広げていく」です。これを29歳の時に自ら創ったというから大したものですね。
 現在、情報誌事業とは別にもう一つの事業を行なっています。それは、4年前に始めたミステリーショップというお店の現状をリサーチする会社です。お客様に扮してその店の状態を探るという仕事です。これから力を入れていきたいとのこと。ロータリーに入会して2年半。「ロータリーに入会して本当に良かった!」と言います。経営者の仲間も増え「職業奉仕」がたいも勉強になっているそうです。「ざっとロータリアンでいたい!」と言います。彼女の性格は明るく行動派で負けず嫌い。経営者としてのカンも決断力も併せ持つ女性です。「必ず世の中の役に立つ、女性の、女性による、女性のための会社」をつくるのが将来の夢だそうです。

例会報告

2017年 3月 30日 第3274回 例会

出席報告

- 現在会員 133名
- 出席者 81名
- 欠席者 42名
- 出席免除者欠席 10名
- 今回例会出席率 65.9%

例会修正出席率

- 3月16日
- メークアップ 28名
 - 欠席者 25名
 - 修正出席率 80.6%

●メークアップ 平野洋一(3/19 地区 2017-18年度会長エレクト研修セミナー(PETS))、(3/24 炉辺会談 第3班 9名)、石橋正人・須賀原和広・杉本裕之・清川卓二・土屋道照・英 貴子・村中洋祐 (3/12 福井RAC) 各君

例会

退会の挨拶



西田 彰一 会員

1年10ヶ月前に入会させて頂きまして、それから約2年皆様には大変可愛がって頂き成長させて頂いたと、今深く思っております。

感謝、お礼、お詫び、いろんな気持ちをお伝えしたいのですが、一言に込めさせて頂きます。「大変ありがとうございました。」

今日は最後の例会となるので、去年頂いた皆勤賞のバッジを、初めて着けてまいりました。

例会の後にこのバッジを外すこととなりますが、これからはこのバッジを心に付け替えて歩いていきたいと思っております。

1年10ヶ月大変ありがとうございました。



案内

【国際ロータリー第2650地区2016-17年度地区大会 当日連絡事項】

1. 本会議場へのご入場： 各クラブ毎に指定された座席に10時15分までに到着ください。

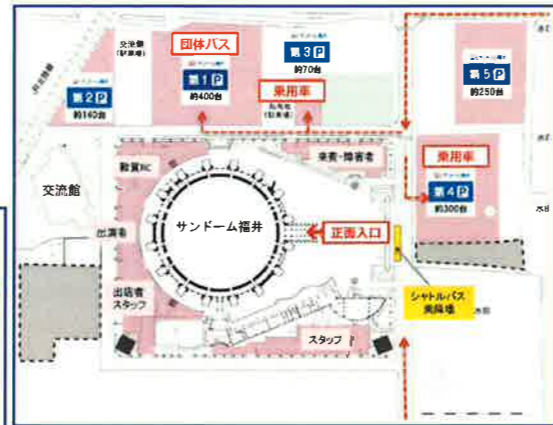
2. 駐車場と専用シャトルバスのご案内：(4月9日(日))

自家用車駐車場：自家用車は「サンドーム福井」の第3・第4駐車場に駐車してください。

シャトルバス：「サンドーム福井」正面のシャトルバス専用停留所に乗降してください。

★JR福井駅から下記の時間にシャトルバスを運行致します。

・JR福井駅発 9:20 → サンドーム福井 10:00頃 到着予定 (係員が立って、乗り場へ誘導・ご案内します)



会員卓話

辻 恵利子 会員



私は1976年、辻家三姉妹の三女として福井市で生まれました。小学・中学・高校は福井で暮らし、1995年高校卒業後大阪の専門学校へ2年間行っていました。卒業後は福井へ戻り、1年間福井トヨタカローラのショールームで車の販売をしていました。1998年に大阪へ行き、日本ビューティーコーポレーションで化粧品販売とエステティシャン育成指導員として就職。東京と大阪を歩き回っていました。

2000年 次女が中国で語学留学中に急性再生不良性貧血で突然他界。母がショックで働けなくなり、私が福井へ戻り父の会社で経理として就職致しました。

そして、その5年後、父が60歳の時に肝臓癌で他界。父が亡くなる1週間前、病室で、父から私に会社を継いで欲しいと言われました。もちろん私は鉄工所のイメージは

男社会のイメージで女がしていくものではないと思っていましたし、私が会社を継ぐなんて、むちゃくちゃな話だと思っていましたので断りました。

しかし、父から「わしが居なくなったら、お母さん達はこの先どうやって食べていくつもりだ」と言われまして…確かに私の家族は複雑で、母、私、当時まだ小さかった長女の子供2人と暮らして、私自身も本当に母と姉の子供をどうやって面倒見て行けばいいのだろう…と悩んだ結果、とにかく自分がやれる所までやってみようと思い、当時28歳の私が会社を継ぎました。

当社は1967年に父が個人経営を始め、1974年に株式会社社機として法人になりました。

当時は製造業とメンテナンス事業を中心の鉄工所として経営しておりましたが、現在は鉄工所部門と中古繊維機械輸出部門と2つのビジネスを展開しております。

今回は中古繊維機械輸出についてお話したいと思います。中古繊維機械輸出は2通りの方法があります。

① 日本国内の機械を海外へ転売する
② 海外の機械を買い付けして、現地から転売国へ輸出する
転売先の見つけ方は、当社の様な同業社ほどの国もたくさんあり、最初の頃は、ネットや紹介などで転売先を見つけ、今は1カ国に1社当社の様な同業者とチームを作りだし、それ以外の会社からはお互い転売も購入もしないのが条件になります。チームの人は主に韓国・インド・パキスタン・タイ・バングラデッシュ・インドネシア・フランス・ネパール・メキシコ などで。今の所、良きビジネスパートナーとなる人が見つかっておりませんが、今後の開拓はアフリカへと考えています。

支払方法は

- ① 前払い：船詰前に取引代金が支払われるもの
 - ② 信用状 (L/C: Letter of Credit)：バイヤーの銀行がバイヤーに代わって一定期間、一定金額の支払いを保証した保証状です。
 - ③ 支払渡し (D/P: Document against Payment)：輸出者は船荷(ふなに)証券(BL)とインボイスといった船積書類と為替手形を振り出して、輸出者の取引銀行経由して輸入者の取引銀行に書類を送付します。輸入者は、支払いと引き換えにこの書類を受け取る事が出来ます。基本的に船荷証券が無いと現地の港でのコンテナは引き取れません。
 - ④ 出荷後決済：船積後、船荷証券が発行されますので、船荷証券のコピーを先方にメールして、入金確認後に船荷証券を先方へ直接送る。この取引の場合はリスクがかなりありますので、手付を必ず頂きます。
- ここまで私がしている中古繊維機械輸出の仕事です。

話は少し余談になりますが以前、佐々木会長が「職業さんぽ」で当社にお見えになった時、今まで一人で海外へ行って怖い事はないか?と聞かれた事がありました。今まで一番怖かった事は、夜到着便で、インドネシアへ行った時に現地のお客さんが準備した、運転手付で黒の高級車ばい車が空港で私をひろい、それに乗ってホテルへ向かう途中、信号待ちをしていた時、ある2人の男性が車に近寄ってきました。私は最初物売りかと思ってポーッと景色を見ていたら、突然前の座席の窓を何かの棒で、おもいきり、窓ガラスが割れるぐらい何度も叩いてきました。そして信号が青になり運転手が急発進したと同時に、その男性二人は車のサイドミラーを壊して持って行ってし

ました。その時車の中は英語も何も通じない運転手と私の2人だったので本当に怖かったです。

あとはインドへ行った時にインドの方が予約してくれたホテルが本当に今まで一番最強でした。ひとつはトイレがなく、シャワールームでトイレをする様な感じです。もうひとつはトイレはありますが、シャワーが無くて下のバケツに水をくみそれを体にかけて髪や体を洗います。もちろん、冷たい水しか出なかったです。この様なハプニングもありながらも一人で海外へ機械を確認しに行ってます。父が他界してから12年経ちました。この間、大きな決断をすることが2回ありました。

1. 私が会社を継いで直ぐに、父のもとで働いていた人達が、引き抜きや、前社長には恩はあるから付いてきたが、お前にはないと言われて次から次へと辞めてしまった事です。社員からしたら母では無く、何も分からない私が社長になるなんて不安だっただけで、引き留める事は出来なかったです。その後は残った社員と共に私も作業服を着て、毎日穴あけをしたり、リフトで荷物を運んだり、現場と一緒に働き鉄工所を少しずつ学びました。

2. 2008年リーマンショックの辺りに、私が受けた仕事で先方が突然倒産して、多額な不渡りを受け、会社が倒れる寸前だった事です。この時が一番辛く毎日が必至だったので、どう毎日過ごしていたのか記憶もありません。ただ毎日、日中は社員に不安を与えず笑顔を作り、社員が帰った夕方から夜遅くまで母と会社について資金繰りをして、本当に毎日資金繰りをするのが辛かった事だけは忘れません。

この辛い時期が1年程続いた後、ある繊維会社の部長さんから辻さんに覚悟があるなら、中古繊維機械輸出をやってみてはどうか?とアドバイスを頂き、ここから私は本格的に輸出を始めました。ちょうどこの時メインバンクさんが、当社の経営に力を貸して下さい、そこから一気に会社の経営が変わりました。

この様にいろんな事がありました。あの時の事を思い出すと、今でも胸が辛くなりますが、あのどん底から這い上がって来れたんだから、もう何があっても乗り越えられるはず!と自分に言い聞かせています。

今年は父が経営を初めてから50周年の節目になります。今まで心配ばかり掛けてきた家族と社員、お取引先の方々に改めてお礼を言いたいです。ご静聴誠にありがとうございました。

職場さんぽ

訪問先：(株)角文

「人間は、自然のうちでもっとももろい葦でしかない。しかし人間は考える葦である。」フランスのパスカルの言葉です、人は考えることが出来る。頭の中にある考えは、書くことで明確となり整理される。

書くという知的行為に必要なものが文房具です。福井大学・文京キャンパスの正門前で、昭和24年から文具・事務用品販売を営み2003年三代目として会社を引き継ぎました。

「誠実に商売をする事」「お客様の立場に立って商品を販売する事」先代から私が引き継いだ言葉です。

福井大学はもとより、私が幼稚時代に習得した「※丸の内購買スタイル」を福井県内の上場企業様に採用して頂き、多くの事務用品を納品しています。また文具大手通販アスクルの代理店です。

これからもお客様のニーズに寄り添い知恵を出し、地域に必要なとされる提案型の文具店でありたいと考えています。是非お気軽にお声がけください。お待ち申し上げます。

